

陸のはこぶね

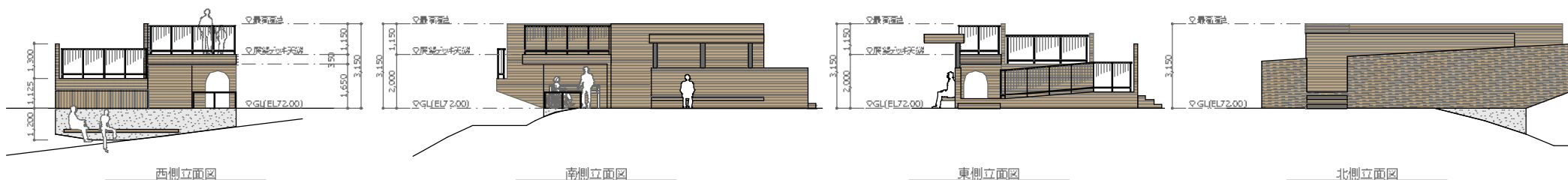
マイ タワラックス2022 海軍記念公園展望台

舟に乗っているかのような展望台で、今見えている平穏な日常についてぼーっと考えてみる。
77年前のあの日も、ここから見える空と海の青さは、
今と変わらず美しかったんでしょう。悲しいほどに。

この展望台は、海軍戦没者慰霊塔のデザインから連想し、展望機能と休憩機能を一つの塊りに集約することで、人を乗せる「陸のはこぶね」に見立てたデザインとしました。

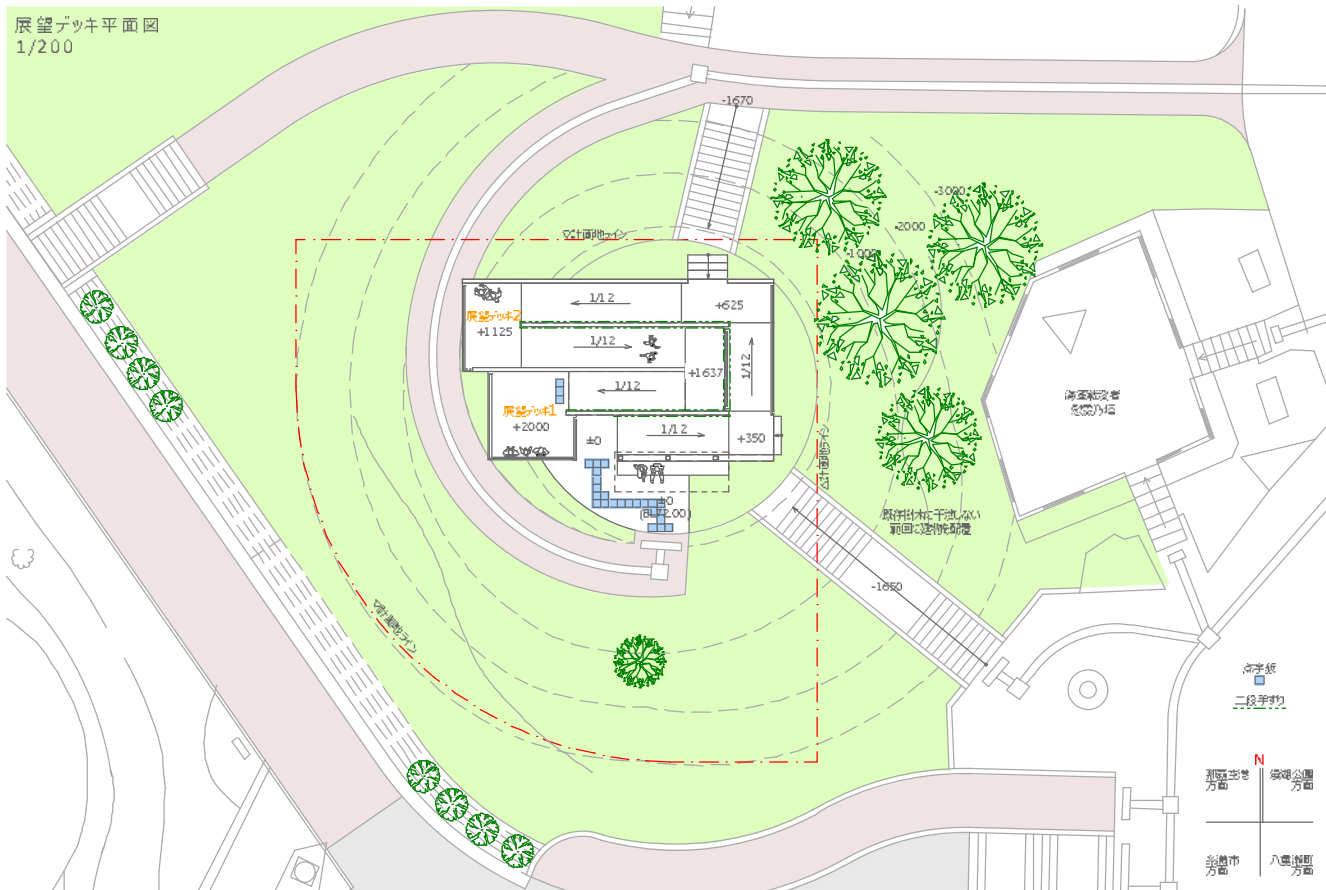


北西側からのパース

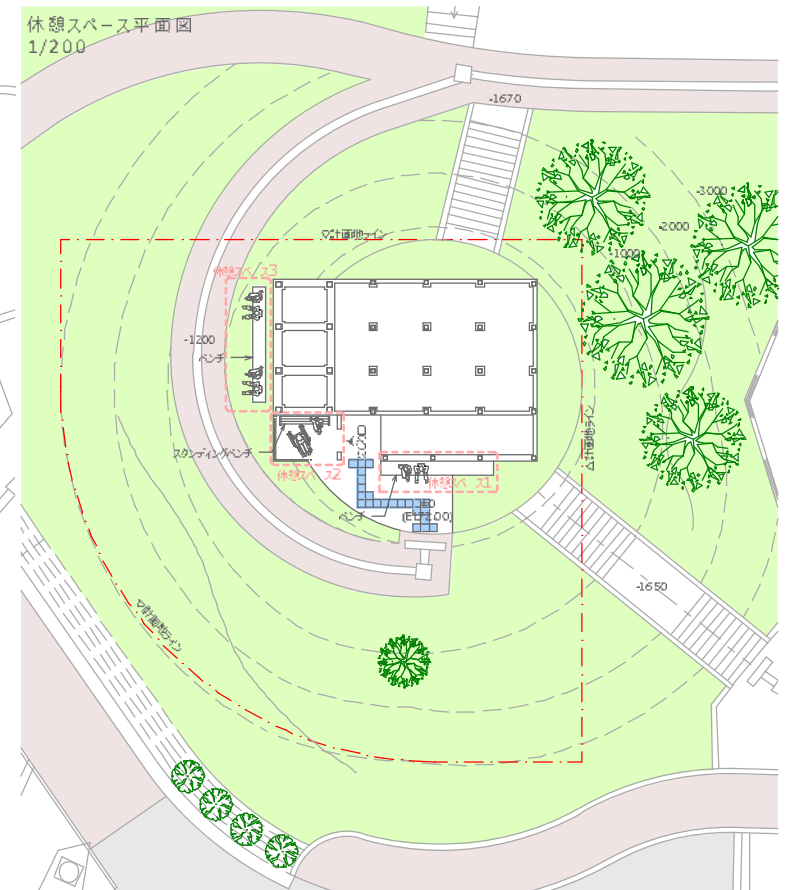


※当の展望台の遊覧の際は、前記の旅行の安全対策に備わった物件であることを確認、申請する必要があります。

展望デッキ平面図
1/200



休憩スペース平面図
1/200



■3つの休憩スペース

景観への配慮や機能性、航空法の制限も踏まえ、休憩スペースは3つのエリアに分けて配置します。また、敷地の高低差やベンチの配置によって他人との視線をずらし、適度なプライベート感を確保しながらのんびりできる空間とします。

☑休憩スペース1

他の場所と比べ視界を遮るものが少ないため、日陰で座りながら景色を眺めることができる休憩スペース。

☑休憩スペース2

展望デッキ1の真下に配置し、日陰の面積と平場の部分が広く取れるよう計画。天井高は低いものの、スタンディングベンチを採用し、ちょっとした休憩や車イスで訪れた人も日陰で休むには十分なスペースを確保。

☑休憩スペース3

展望台の高さを抑えつつ、日差しを遮れる休憩スペースを造るため、敷地の高低差を活かし、展望デッキ2の真下に配置。土留めは展望デッキの基礎部分で行います。

■バリアフリーに配慮～どなたでもお越しく下さい～

どなたでも気軽にお越しいただけるよう、展望デッキには2段手すりや点字鋲を設け、既存の道路から引き続き、スロープ(1/12勾配)で到達できる計画とします。平橋というのは目で見える風景だけでなく、肌で感じる風や、木々の匂い、音でも感じられるはず。"陸のはこぶね"は、どなたでも受け入れられる展望台です。

■つい、上りたくなる展望台

計画敷地は既に周囲が一望できる立地である。展望台に上らずとも景色が見渡せるため、そのまま帰ってしまう人もいられるかもしれません。本計画では、あえて視線を遮ることで展望デッキへ誘導する計画とします。



■ライフサイクルコストへの配慮

- ☑解体時における鉄骨材のスクラップ控除による解体費の削減。
- ☑構造部材は防錆処理の上、外装材により直接風雨に曝されない計画とし、構造部材の長寿命化に寄与する。
- ☑一部外装材を取り外せる点検口を設け、隠れた躯体も点検できるよう配慮。
- ☑外装材はリサイクル材の樹脂デッキを採用し、メンテナンスフリーな計画とします。

- 構造：鉄骨造平屋建て
- 延床面積：18.66㎡
- 仕上：樹脂製デッキ材(床、壁、天井共通)
- 概算工事費：¥19,350,000
- 外構：芝張り、一部土間コンクリート直均し仕上



南西側からのパース